

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公表番号】特表2018-518334(P2018-518334A)
 【公表日】平成30年7月12日(2018.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報2018-026
 【出願番号】特願2018-509949(P2018-509949)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/00 Z

A 6 3 B 69/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パフォーマンスセンサユニット(P S U)から導出されるデータを介してスキルのパフォーマンスを自動化されたモニタリングを可能にするように構成される観察可能なデータ条件(O D C)を定める方法であって、前記方法は：

1又は複数のサンプルパフォーマンスによる前記スキルのサンプルパフォーマンスを表すデータのセットを取り込むステップと；

前記スキルに関する1つ又は複数の徴候を識別するように前記データのセットを分析するステップであって、それぞれの前記徴候は、識別可能なパフォーマンス影響要因に対応する、ステップと；

それぞれの前記徴候に対して、前記スキルの任意のパフォーマンスに関して前記P S Uから導出される前記データの中に観察されるとき、前記パフォーマンスにおける前記徴候の存在を表す前記O D Cのセットを決定するステップであって、前記O D Cの前記セットは前記P S Uから導出された前記データのデータ属性の組み合わせを含む、ステップと；

を含む、

方法。

【請求項2】

前記スキルに関する前記徴候の存在の自動化された識別を含む、前記スキルのパフォーマンスの自動化されたモニタリングを可能にするよう、前記O D Cのセットを含む状態エンジンデータをエンドユーザハードウェアに送信するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記P S Uは、モーションセンサユニット(M S U)対応衣服によって担持されるモーションセンサユニット(M S U)であり、前記スキルに関する前記徴候の1つ又は複数は、前記スキルの1つ又は複数のフェーズの間の1つ又は複数の人の身体のポイントの3次元動作を表す、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記スキルの前記サンプルパフォーマンスを表す前記データのセットを取り込む前記ス

テップは、ビデオデータ及びモーションセンサデータ(MSD)を取り込むステップを含む、

請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記スキルに関する前記1つ又は複数の徴候を識別するように前記データのセットを分析する前記ステップは、前記1つ又は複数の徴候及び前記1つ又は複数の徴候の1つ又は複数の原因を識別するための前記ビデオデータの人間の視覚分析を含む、

請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記スキルに関する前記1つ又は複数の徴候を識別するように前記データのセットを分析する前記ステップは、それによって前記ビデオデータの前記人間の視覚分析を介して識別された前記1つ又は複数の徴候を表すデジタル化されたデータを識別するための、前記MSDの分析を含む、

請求項5に記載の方法。

【請求項7】

それぞれの前記徴候に対して、前記ODCのセットを決定する前記ステップは、(i)前記ODCの予測されるセットを決定するステップ、(ii)前記徴候を含む第1の数の前記サンプルパフォーマンスに関する第1の数の前記データのセットにおける前記ODCの予測されるセットの存在を確認するステップ、(iii)前記徴候を含まない第2の数の前記サンプルパフォーマンスに関する第2の数の前記データのセットにおける前記ODCの予測されるセットの欠如を確認するステップ、及び(iv)前記(ii)又は前記(iii)の確認が不成功である場合に、前記ODCの予測されるセットを修正するステップ、を含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記スキルの前記サンプルパフォーマンスを表す前記データのセットを取り込む前記ステップは、前記サンプルパフォーマンスを表すMCD及び/又はMSDを取り込むステップを含み、

前記データのセットを分析する前記ステップは、第1のサンプルパフォーマンスからの前記MCD及び/又は前記MSDの第1の視覚表現と第2のサンプルパフォーマンスからの前記MCD及び/又は前記MSDの第2の視覚表現を比較するステップを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記MCD及び/又は前記MSDの前記第1及び前記第2の視覚表現は、3次元仮想ボディアニメーションを含む、

請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のサンプルパフォーマンスからの前記MCD及び/又は前記MSDの前記第1の視覚表現を前記第2のサンプルパフォーマンスからの前記MCD及び/又は前記MSDの前記第2の視覚表現と比較する前記ステップは、前記第2の視覚表現に対して前記第1の視覚表現を重ね合わせるステップを含む、

請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記データのセットを分析する前記ステップは、

(i)客観的基準を満たす1つ又は複数の最適なパフォーマンスを特定するステップと

、(ii)準最適なパフォーマンスを準最適なパフォーマンスカテゴリに分類するステップであって、所与の準最適なパフォーマンスカテゴリに属する所与の準最適なパフォーマンスのセットに共通であるが、前記1つ又は複数の最適なパフォーマンスに共通な第2のデータ属性と異なる第1の属性を識別するステップを含む、ステップと、を含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 2】

(i) 前記 1 つ又は複数の徴候、及び (i i) それぞれの前記徴候に関する前記 O D C のセット、のいずれか又は両方への身体サイズ又は個人的なスタイルの影響を識別するように異なる身体サイズ又は個人的なスタイルの 2 以上のサンプルパフォーマンスによる 2 以上のデータのセットを比較するステップと、

前記身体サイズ又は前記個人的なスタイルの前記影響に基づいて、前記身体サイズ又は前記個人的なスタイルの範囲にわたるそれぞれの前記徴候に関する前記 P S U 又は前記 O D C のセットから導出される前記データに対する変換のセットを作るステップと、

をさらに含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記 1 又は複数のサンプルパフォーマンスによる前記スキルのサンプルパフォーマンスを表す前記データのセットを取り込む前記ステップは、第 1 の能力レベルの第 1 のサンプルパフォーマンスに関する第 1 の複数の前記データのセットを取り込むステップと、第 2 の能力レベルの第 2 のサンプルパフォーマンスに関する第 2 の複数の前記データのセットを取り込むステップと、を含み、

前記第 1 及び前記第 2 の能力レベルのそれぞれについてのそれぞれの徴候及び関連する O D C を定めるステップをさらに含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

コンテンツ作成者がトレーニングプログラムのフィードバックを定めることを可能にするステップを含み、前記フィードバックは、前記スキルのユーザのパフォーマンスからの前記 P S U から導出される前記データの前記データ属性における O D C の所与のセットの識別に応じてトリガされる、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 に記載のモーションセンサのセットを介してエンドユーザによるスキルの身体的パフォーマンスをモニタするように構成されるデバイスであって、前記モーションセンサのセットは、前記エンドユーザの身体に取り付けられる複数のモーションセンサを含み、前記デバイスは：

前記モーションセンサのセットから入力データを受信するように構成される処理ユニットと；

前記入力データをそれによって前記 O D C の 1 つ又は複数のセットを識別するように処理するように構成されるメモリモジュールと；を有し、

そのような前記デバイスは、それによって、前記スキルの前記エンドユーザの身体的パフォーマンスにおける関連する前記徴候の存在をモニタすることを可能にするように構成される、

デバイス。